

兵庫医科大学 研究実施のお知らせ

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	超音波による脾腫と脾硬度の有用性の検討 [倫理審査受付番号：第 5204 号]
研究責任者氏名	西村 貴士
研究機関長名	兵庫医科大学長 鈴木 敬一郎
研究期間	2025 年 11 月 26 日 ～ 2029 年 3 月 31 日
研究の対象	以下に該当する患者さんを研究対象とします。
	疾患名： 肝疾患 / 診療科名等： 消化器内科/超音波センター
	受診日：西暦 2015 年 4 月 1 日～ 2025 年 11 月 26 日
研究に用いる 試料・情報の種類	☐ 試料等 ☒ カルテ情報 ☐ アンケート ☒ その他（超音波検査、CT 検査、MRI 検査、内視鏡検査、組織検査などの検査結果）
	取得の方法： ☒ 診療の過程で取得 ☐ その他（ ）
研究目的・意義	この研究では、肝疾患患者さんに対して超音波による脾腫・脾硬度を測定し、肝疾患の合併症の予測などに関して CT や MRI、内視鏡検査や組織検査で診断した肝疾患の合併症、病態の診断と合致するかの検討を行い、脾腫や脾硬度の有用性について明らかにすることを目的にしています。このことにより簡便で繰り返し検査可能、さらにコストパフォーマンスもよい超音波での診断、病態把握が可能となります。 本研究では、肝疾患患者さんを対象に、超音波検査による脾腫および脾硬度の測定を行い、それらの指標が肝疾患に伴う合併症の予測や病態評価に有用であるかを検討することを目的としています。具体的には、CT、MRI、内視鏡検査、組織検査などで診断された肝疾患の合併症や病態と、超音波による脾腫・脾硬度の結果とを比較・検証します。 この研究により、簡便で繰り返し実施が可能、かつコストパフォーマンスに優れた超音波検査を用いて、肝疾患の診断および病態把握が可能となることが期待されます。

研究の方法	2015 年 4 月 1 日～2025 年 11 月 26 日までに兵庫医科大学病院肝胆膵内科/超音波センターで肝疾患に対して超音波による脾腫を測定した患者さんについて生年月日、超音波検査日、年齢、性別、身長、体重、PS(performance status 全身症状の医学的指標)、他疾患の既往、投薬内容、基礎疾患や合併症などのカルテ情報、超音波検査、CT 検査、MRI 検査、内視鏡検査などの画像検査や血液検査 (ALB、T.BIL、D.Bil、AST、ALT、PT%、PT-INR、血糖、HbA1c、総コレステロール、中性脂肪、HDL-C、LDL-C、ヒアルロン酸、IV型コラーゲン 7s、P-Ⅲ-P、M2BPGi、ALBI score、HBsAg、HBsAb、HBcAb、HBV-DNA、HCVAb、HCV-RNA、ANA、AMA-2、AMA、アンモニア、CRP、CBC eGFR、Cre)、組織検査などのデータも使用します。これらを使用して超音波による脾腫を使った肝疾患の病態や合併症の診断と血液検査や他画像検査、組織がある場合は組織と比較して、有用であるかどうかの検討を行います。この研究のために特別に来院していただく必要はありません。
個人情報の 取扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
本研究に関する 連絡先	診療科名等：兵庫医科大学 消化器内科学 担当者氏名：西村 貴士（研究責任者） [電話]（平日 9～17 時）0798－45－6472（消化器内科学（肝胆膵内科）医局） （上記時間以外）0798－45－6111